

# 工事中の火災に

# 注意してください！！

全国での工事中の建物や、解体現場における火災の主な出火原因は、溶接等の火花、ガスバーナー、たばこの不始末、放火（疑いも含む）などです。

当広域管内でも、解体工事中の溶接火花による出火や、外壁塗装の乾燥にガスバーナーを使用した出火など、不注意による火災が発生しています。

以下のことに注意し、安全に作業を行ってください。

## 工事中の防火管理業務

### 1 出火防止

喫煙のルール、注意事項の徹底。



燃えやすい物品のそばでは火気を使用する作業はしない。  
やむを得ない場合は不燃シートで遮蔽する。



作業環境や作業中の監視。



工事資機材の整理整頓と、定期的な巡回。

消火器の設置



夜間等、無人になる場合は施錠し、可燃物をみだりに放置しない

### 2 延焼拡大防止・作業員の教育



防火戸、防火シャッターの閉鎖障害となる場所に物品を置かない。



- ・工事関係者全員が避難経路を把握できるように周知する。
- ・避難経路に物品を置かない。
- ・防火に関する教育を実施する。

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部

連絡先  
(消防本部HP)

